

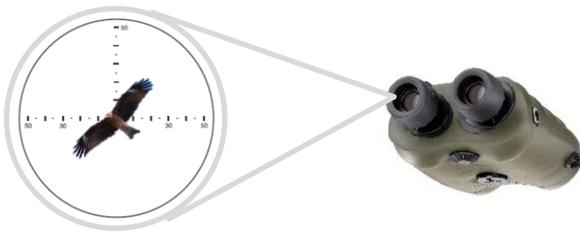
レーザー計測システム LMS1.0

Laser Measurement System / 鳥類調査システム



鳥の飛翔位置を測定する双眼鏡システム レーザー計測システム LMS1.0

レーザー計測システムは、双眼鏡型のレーザー距離計で鳥の飛翔位置を3次元座標（緯度、経度、高度）として記録するシステムです。インターバル計測モードでは、オペレーターの操作は、双眼鏡の視野中心に調査対象の野鳥を捉えてその行動を追跡するだけです。調査中は複雑な操作がありませんので、調査に集中することができます。



製品の特徴

■ インターバル計測

アプリ上で設定できる自動計測モードは、最小2秒間隔でレーザー距離計が自動測定をします。観測者の操作は双眼鏡型のレーザー距離計で鳥を追いかけるだけ。煩わしいボタン操作は必要ありません。

■ オフライン地図

制御PCには地図が予めインストールされているため、インターネット接続が困難な場所でも、測定した鳥の飛翔位置をアプリ上の地図の中で確認することができます。

■ ワイヤレス接続

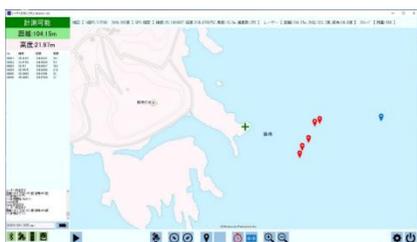
観測者が使用するレーザー距離計と制御PCの通信はBluetoothで行います。ワイヤレス接続により、制御PCは観測地点から離れた場所に置いて使用することができます。

■ 磁気偏角の自動設定

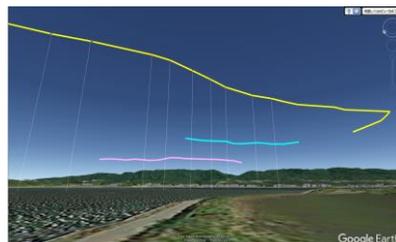
地域によって変化する磁気偏角は、観測位置の座標から自動的に設定します。

計測データをCSVで出力

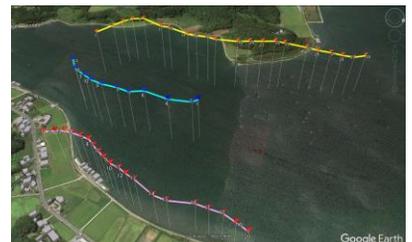
計測データには、測定した日・時・分・秒、計測位置、鳥の飛翔位置が含まれます。CSVファイル形式で出力できるため、調査後の編集も簡単に行えます。調査した鳥の飛翔位置を編集すれば、3次元の飛行ルートを地図空間上に描画することもできます。これまで難しかった飛行図が簡単に作成でき、更に立体的な表現を加えることができます。



計測画面



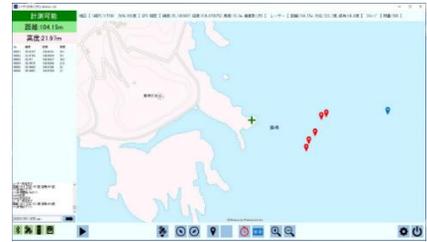
3次元飛行ルートの例



3次元飛行ルートの例

レーザー計測システム LMS1.0

Laser Measurement System / 鳥類調査システム



水平360° 天頂方向まで測定できるレーザー距離計

VECTOR21 AERO

VECTORシリーズはスイスSAFRAN Vectronix社製の世界的なロングセラー商品で、双眼鏡、レーザー距離計、磁気コンパス、傾斜計の4つの機器が1つに統合された装置です。レーザーはクラス1アイセーフに分類され、鳥、人にも安全なレーザーで、数キロ先の鳥を捉えることができます。

使いやすいアプリケーションソフトウェア

制御アプリケーション

各接続機器の設定を行い、計測データをPCに記録をします。測定したデータはリアルタイムに地図上に表示されて、飛翔位置をその場で確認することができます。データをCSVファイル形式で出力して、飛翔図作成の元データとして活用することができます。

『レーザー計測システム LMS1.0』の主な用途

- ◆ 猛禽類調査、渡り鳥調査 (鳥の飛翔軌跡・高度情報の取得、営巣地の記録など)
- ◆ 環境アセスメントの生物調査

『レーザー計測システム LMS1.0』の主な仕様

システム構成	内容
レーザー距離計	SAFRAN Vectronix製VECTOR21AERO (Bluetoothアダプタ付)
PC	WindowsベースノートPC
制御アプリケーション	レーザー計測システム専用アプリケーション オフライン地図付き
GPSユニット	高感度チップ内蔵USB接続GPS受信機
リモコン	制御アプリケーション用リモコン
備考	



製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
本製品のご利用の際は、取扱説明書をよく読んで上をご利用ください。

お問い合わせ



極東貿易株式会社

特機システム部



〒100-0004

東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル7階
TEL 03-3244-3699 FAX 03-3246-2765